

研究・調査報告書

報告書番号	担当
482	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Irregular heavy drinking occasions and risk of ischemic heart disease: a systematic review and meta-analysis. 不規則な多量飲酒の頻度と虚血性心疾患との関連:系統的レビューとメタ解析	
執筆者	
Roerecke M, Rehm J.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Am J Epidemiol. 2010 Mar 15;171(6):633-44. Epub 2010 Feb 8. Review.	
キーワード	
飲酒、酒種類、酩酊、ケース・コントロール研究、コホート研究、冠動脈疾患、冠疾患、メタ解析	
要旨	
<p>中程度の習慣的飲酒が心保護効果を有するのに対し、不規則な多量飲酒(少なくとも月一回、一機会摂取量が純アルコール 60g より多いまたは 5 単位以上)の機会増は、平均飲酒量があたとえ中程度であっても、虚血性心疾患リスクを増大させるとの根拠が集積されつつある。</p> <p>著者らは系統的に 1980-2009 までの電子データベースを用い、不規則な多量飲酒頻度と虚血性心疾患リスクに関するケース・コントロール研究およびコホート研究を検索した。酩酊ないし 5 単位以上の飲酒の相対リスク推定が、平均飲酒量についての層別化ないし補正とともになされている研究を対象とした。</p> <p>14 研究(31 のリスク推定値を含む)が対象研究として選択され、虚血性心疾患イベント数は計 4718 イベントであった(死亡・発症を含む)。標準化されたプロトコールに従い、対象者背景、および相対リスク推定値とその分散を求めた。</p> <p>ランダム効果モデルを用いた分析の結果、不規則な多量飲酒の、中程度規則的飲酒に対する統合相対リスクは、1.45(95%信頼区間 1.24、1.70)であった。研究間には有意な異質性が認められた($I^2=53.9\%$)。感度分析においても、結果は同様であった。</p> <p>習慣的飲酒量が軽・中等度であっても、不規則に多量飲酒の機会がある場合、中程度習慣的飲酒の心保護効果は、おしなべて、失われてしまうことが示された。</p>	